

尼子十勇士實傳全

特38

652



091922-000-4

特38-652

尼子十勇士實傳

錦近堂

M23

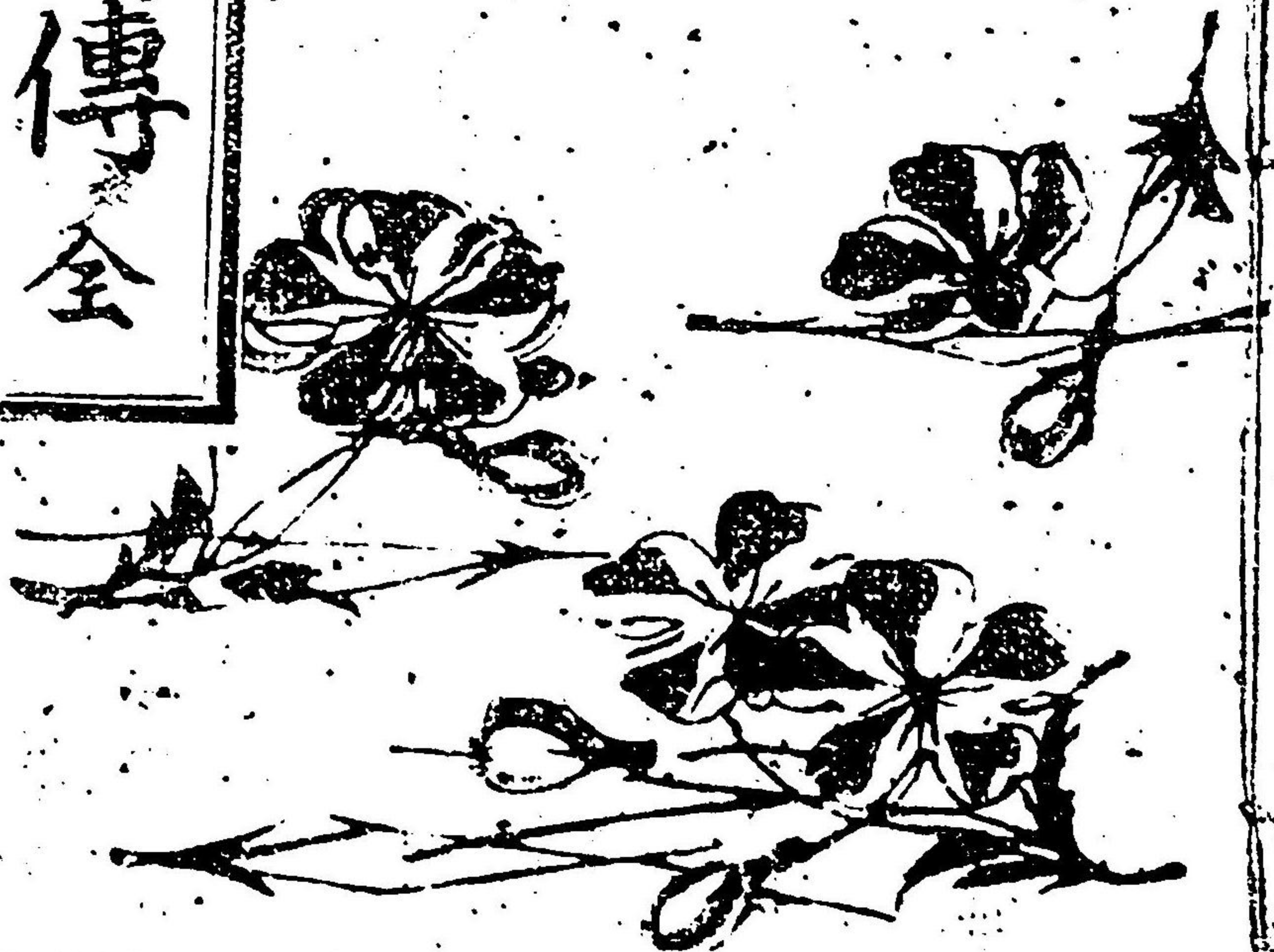
DBP-0031



尾子十勇士實傳全

第 58

652



4588

特38

65



相木森之助未前を察  
鹿山中へ閑居大谷古猪助  
鹿之助の使ふまじり

子



銅版  
繪製刻  
小鏡

綿  
道  
坐  
穉



秋王庵之助

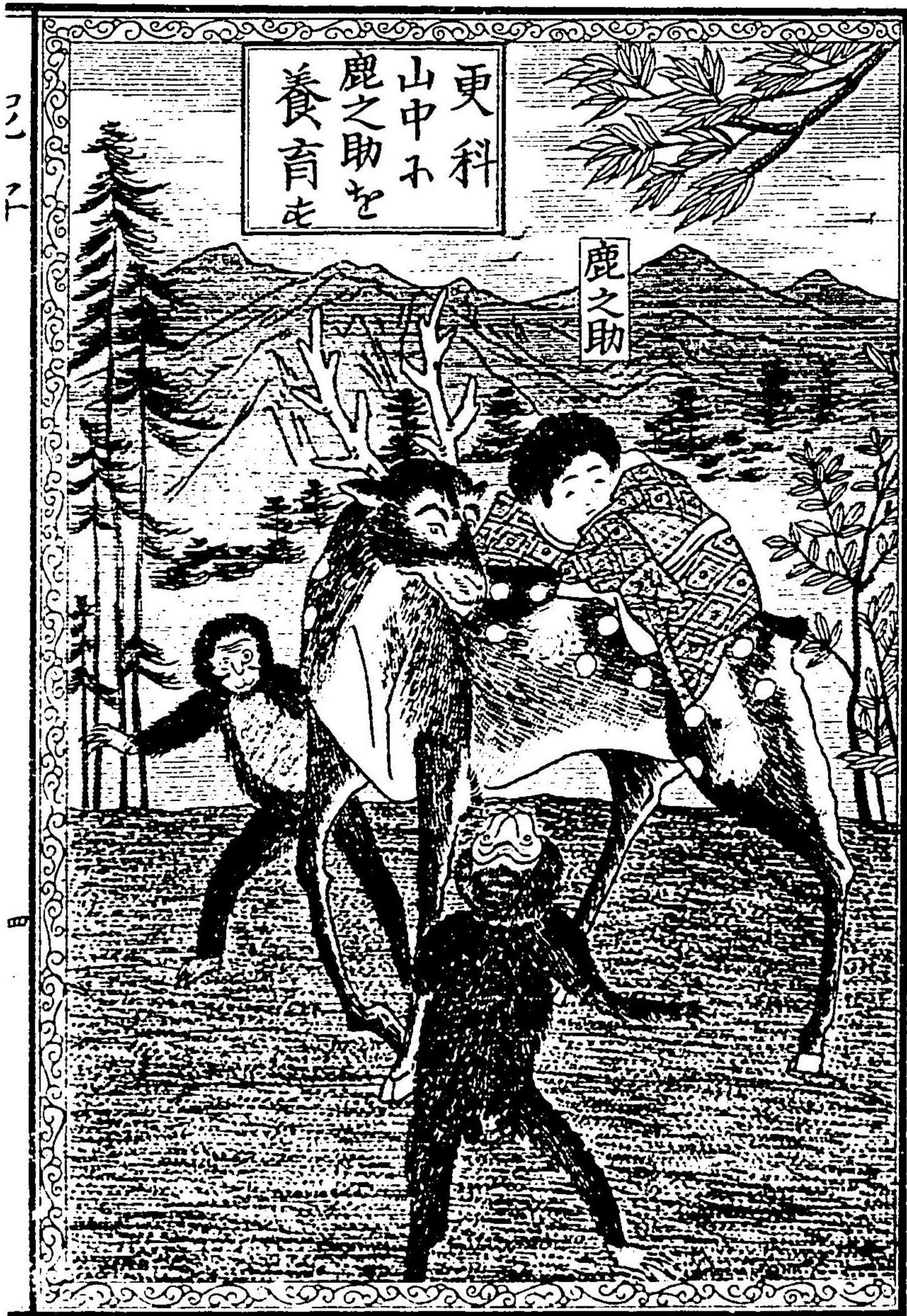
数中茨之助

横道兵庫之助

山中鹿之助

荒浪破之助





傳説  
 山中鹿  
 之助ハ村  
 上義清  
 の巨相本森  
 之助子母ハ同  
 潘染岩寺左  
 馬助の娘ハ  
 更科トて古今  
 無双の勇婦アリ  
 故ありて森之  
 助武田家ハ因ハ



諸説  
 山中麿  
 之助八村  
 上義清  
 の臣相本森  
 之助子母へ同  
 藩楽岩寺左  
 馬助の娘お  
 て更科とて古今  
 無双の勇婦あり  
 故ありて森之  
 助武田家へ因



更科

鬼丸



鬼藤太





六



鹿之助



五平



尾子



ふ天吉  
 猪之助の難  
 を救ひ主  
 従の約を  
 自後會  
 多し日を  
 京都小  
 里に計  
 母更科  
 因



立んとて  
 上方へ  
 赴くと  
 父母  
 別  
 出れ  
 立  
 州  
 秋  
 葉山  
 の麓

鹿之助  
 七



立んとて  
上方へ  
赴くと  
父母  
別  
立出  
州秋  
葉山  
の麓

鹿之助



ふと大  
猪之助の難  
を救ひ主  
従の約を  
る後會  
と日と經  
京都小平  
の計  
母更科

鮎之助



救ひの酒  
屋の  
中  
納言宗教卿の  
息女

鹿之介

宗教卿  
鹿之助の英  
勇と云九重姫  
の聲と云播州  
上月の城主尼  
子義久小力  
これと事  
鹿之助頼道  
直不播州  
足  
因



妹怪

九重  
姫の  
危

鹿之介



天  
尾  
子  
母

途中  
不  
早  
川  
之助

横道兵  
庫之助不  
逢  
由尼子隨  
從  
う鹿之助一人



鹿之助

九重姫出  
鹿之助此れ  
計て討果山名



先へ尼子(至り)  
義久不對面せ  
悦ひ大方多  
殊不奥方八重姫  
の妹智由へ兄弟  
のありはとるきと  
白鹿之助へり  
少も高  
近國  
山名氏資の臣  
小菊地乙八と云強  
之者あり

生捕  
鹿之助  
名近國へ  
し茲不尼子  
尼子九郎  
逆意金  
鹿之助  
之助  
毒酒  
ませ

途中  
小て  
早  
川  
之助

横道兵  
庫之助不  
逢  
由尼子隨  
従  
う鹿之助一人



鹿之助

九重姫出

鹿之助此れ  
計討謀



先へ尼子一至り  
義久不對面せ  
一に尼子の  
悦ひ大方多  
殊不奥方八重姫  
の妹智由へ兄弟  
のかりひをるごとと  
も鹿之助へり  
少も高  
ありは  
近國  
山名氏資の臣  
小菊地乙八と云強  
之者あり

鹿之助  
名近國へ  
し茲不尼子  
門尼子九郎  
鹿之助  
之助點  
毒酒  
ませ





身体不随とある  
 船之助ハ其  
 海の中  
 能  
 鹿  
 九重姫  
 女欄とホ  
 守忍  
**勝丸**  
 りやしける

**青草助** 不行  
 と日と経て全快  
 一之より鹿助  
 ハ勝丸七輔佐  
 て九郎左門と  
 七一ニ子を  
 再起さん  
 十勇士と會  
 議ける  
 面々ハ



義久  
 捕城  
 を来  
 とり國  
 押領  
 ける  
 不  
 三勇  
 命おさ  
 けられ

■兵庫之助の妻  
 が救ひ出される  
 尼子の室八重姫  
 ハ途中にて自害と  
 嫡子勝丸ハ五月  
 早苗之助守護  
 して途中僧北  
 典司不渡し京都  
 中御門の内家へ  
 ちとりける夫八借  
 鹿助  
 ハ九重姫  
 ういわりかて湯治





よろこび大方  
るん之より

龍宮より  
帰を引上げ

五  
下

十一



中鹿之助を  
初とく夫を評  
議一決し勝丸を想  
大将とく船路を出陣し  
途中あり荒浪破之助  
破を引上げると  
計らひ早川船之助

勝丸  
兆典司

五  
下





碓之助

播磨

舟子



州着船

上陸し

九郎左

平内

又籠り

城を無三

責入遂に

城を取りへ

義久を救ひ

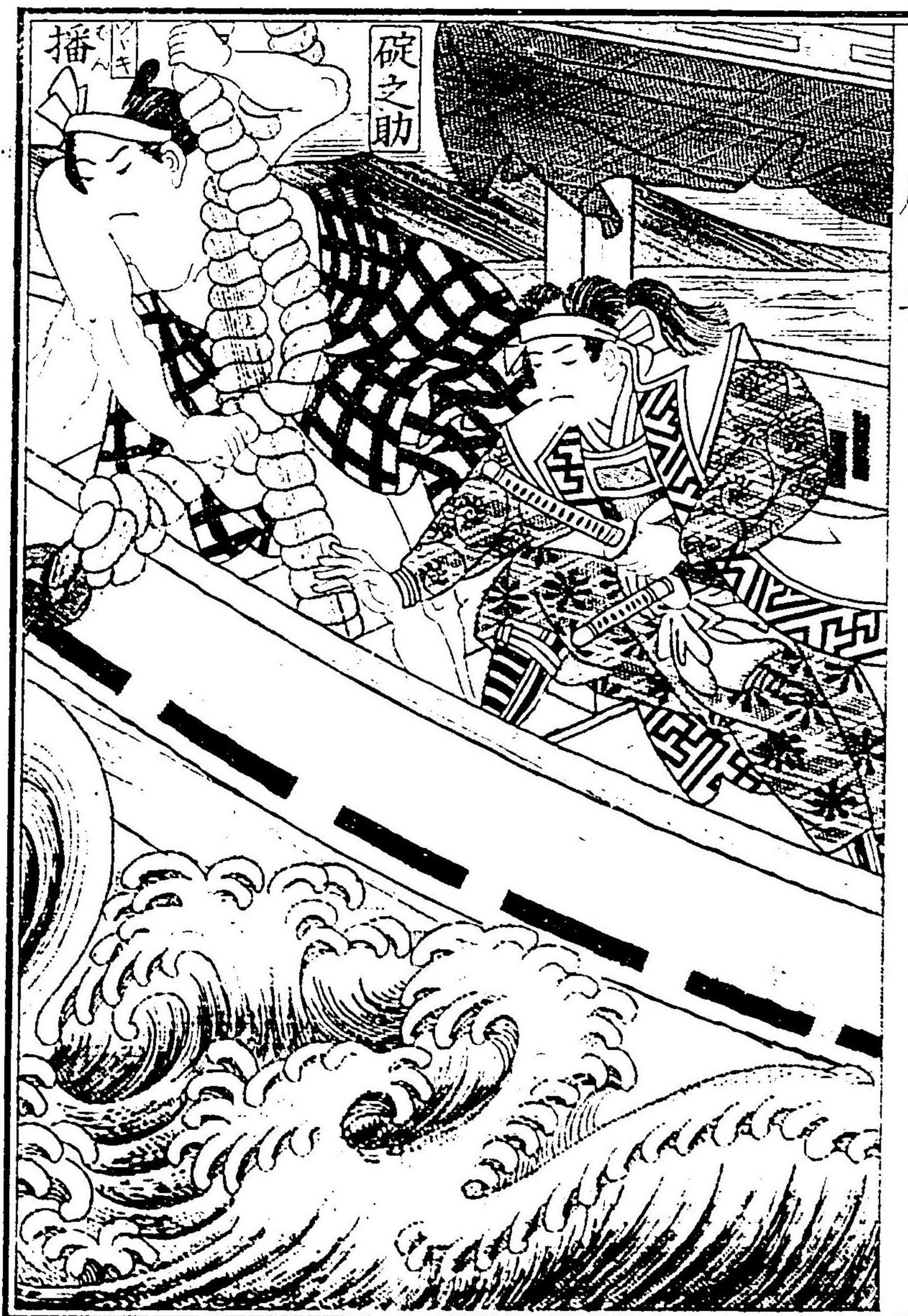
九郎左門を

鮎之助

三

下

上





生捕首を刎義人

父子を旧城小戻

十勇士守護するもの(まもり)近国(

勇威をふるひける殊小鹿之助の

英名更さるる尼子の家富さうへ

明治廿三年七月七日印刷  
日本橋区小傳馬町三丁目十番  
印刷兼長谷川園吉  
発行所



生捕首を刎義久

父子を旧城小戻

十勇士守護るまゝの(まゝもく)近国(

勇威をふるひける殊小鹿之助の

英名裏さるる尼子の家富(うへ

り

全 明治廿三年七月七日印刷  
 日本橋区小傳馬町 貞吉  
 印刷所 長谷川 園吉



